



越美北線の夢…ここにみる

12月15日 開通式

越美北線
（瀬戸—大野）
開通式
特集号



広報

いずみ

発行

福井県大野郡
和泉村
下穴馬 〒 912-02
中電 〒 912-03

越美北線開通 特集号

「ボワアーン」

あつ 汽車だあ……

「ボワアーン」「あつ 汽車だ」

わたしたちは、いつせいに校舎の窓に
かけよった。身を乗り出して手を振るも
の、大きい目玉で汽車を追う者、「かっ
こいい……」と叫ぶ者、わたしも思わず
「ワアッ」と大声をあげてしまった。

十二月十五日開通を前に、試運転の列
車、オレンジ色の明るい車体が夢と希望
をのせて、紅葉の山すそをすべるように
走っていく。

この二、三年の間に道路もずいぶん改
良されて交通の便もよくなった。しかし、
あの汽車を見ると大野や福井がより近く
なったような気がする。「和泉村の夏は
涼しいけど、冬はたいへんね」と大野に
いる友達と言う。わたしたちの村の冬は
きびしい。大野からの帰り「なだれ」の
危険におそわれ、予期しない時間をつい
やしたこともあった。バス通学の生徒が
運休のため困っていたこともあった。高
校へ進学すれば下宿の心配もしなければ
ならない、村の人びとはきびしい自然の
条件とたたかいながら生活しつつ、待ち
に待った汽車が、今、わたしたちの目の
前を走る。

九頭竜湖駅から、「緑とダムと雪の和
泉」を求めてたくさんの人たちが訪れる
日も近い。産業・文化・観光に新しい光が
……。

「ボワアーン」汽車が来る。和泉村を
ひらく汽車が。

(朝日中三年 大沢裕美)

越美北線(勝原―九頭竜湖)開通を祝して



村 長
杉本又助

和泉村にとって五十年來の悲願でありました越美北線はここにめでたく完成いたしました。勝原、朝日間の営業運転がいよいよ十二月十五日より開始されますことは、村民のみならずともこのうえない喜びでございます。ここに謹んで政府はじめ関係ご当局のご理解あるお取計いと、工事施行の任に当たられました日本鉄道建設公団、関係各社のご苦勞に対し、心から感謝の意を表するものであります。また、越美北線完成促進のために、一致団結よくご協力下さいました村民のみならず、並びに期成同盟会を中心として全県的な運動に盛り上げて下さいました県ご当局をはじめ関係各位に対し、心からお礼を申し上げる次第であります。私たちの住む和泉村も、年とともに便利になり、生活も安定してまいりましたが、越美線が岐阜県側からはじめて着工された大正十年頃をふり返って見ますと、まさに隔世の感がいたします。重畳たる山岳と九頭竜の源泉は、南面に見る溪谷の美であつたとしても、当時は生活の資は極めて乏しく、また、丈余の積雪は、人間の活動に極度の制限を加えてきました。こうした厳しい自然環境の中にあつて、村の開発をはかり、

辺地からの脱却をめざすことが容易なものでないことは、越美線とともに歩んだ半世紀の歴史が実証しています。私たちは、村の総合的發展をはかるために、実際に多くの困難を経験してまいりましたが、その都度、衆知を集め、団結して、これを克服してきてきた。

越美南北線の貫通は、今後に残された大事業であります。この目的達成に村民のみならずの絶大なご支援を賜わると、お願いしてご挨拶とします。

私たちは、村の総合的發展をはかるために、実際に多くの困難を経験してまいりましたが、その都度、衆知を集め、団結して、これを克服してきてきた。



昭和35年、福井・勝原間開通を祝う。(福井新聞提供)



大野市長
寺島利鏡

待望の国鉄越美北線、勝原―朝日間の営業運転がいよいよ十二月十五日から開始することになりましたことは、和泉村の皆様とともに喜びに堪えません。この路線は、昭和三十五年十二月十五日、福井―勝原間の営業運転が開始されたのでありますが、朝日までの延長工事は十二年の長い歳月を要しただけにその喜びもまた、ひとし

お深いものがあります。九頭竜湖と越前大野駅間は僅か三十分で結ばれ、和泉村と大野市は一層近くなり、又これまでの冬期間の交通も途絶えることがなくなり、広域行政の実をあげる事が出来ると思ひます。今、越美線全線開通の第一ステップは実現しましたが、さらに越美北線が岐阜県境に到着し、越美南線と結ばれるよう、関係市町村で結成されています。国鉄越美線全通促進期成同盟会を通じてその開通に最善の努力を傾けて参りたいと存じます。そしてこの地域の観光、林産資源や地下資源の開発と住民福祉の向上に一層役立つ日が一日も早いことを祈念してお祝いの言葉といたします。



福井県知事
中川平太夫

待望久しかった国鉄越美北線延長工事が竣工し、いよいよ十二月十五日から営業開始の運びとなりましたことは、誠に同慶にたえません。ことに豪雪地帯の奥越地方にとって、雪に強い鉄道の開通はきわめて心強く、沿線住民の喜びも格

別のものと存じます。また、この地方一帯は豊富な地下資源や森林資源をはじめ九頭竜ダム、スキー場など四季の観光資源にめぐまれ、本線の開通によって、過疎化をくいじめ、地域振興に大きく寄与するものと期待いたします。工事にあたられた日本鉄道建設公団ならびに営業にあられる日本国有鉄道ご当局に対し深く感謝申し上げます。今日までの永い歴史にすぎまれた関係各位のご努力に心から厚くお礼申し上げます。



副議長
吉川 基

(南北線の総称)は、大正十年国鉄建設線として認可され、南線は、大正十一年から昭和九年まで十二年間の歳月をかけて美濃太田、北濃間が完成いたしました。北線(福井県側)の方は、着工が非常におくれて、昭和十年に福井を基点として工事が始められました。その後戦争のため一時中断し、ようやく昭和三十五年末に勝原まで開通いたしました。

越美北線の最終段階である勝原、朝日間は、四十年十月着工以来今日まで、足かけ八年の歳月を費やして完成されたものであり、当初より数えて更に五十有余年、半世紀にわたる大事業となつたわけであり、今後は南北線貫通という最後の大事業が残されておりますが、過去越美北線完成にかけた情熱をもって、実にこの大問題に取り組まねばならないと思ひます。永い間夢みた越美北線の完成は、村民挙げて慶祝するところであり、ますが、今日このよりのごびの中に、国、県の関係各機関を始め、ご理解とご協力をお寄せ下さった多くの方々、並びに工事を担当された公団の方々に、深く感謝の念を捧げると共に、心からお礼を申し上げます。ご挨拶といたします。

待望の越美北線開通を喜ぶ

第十五代下穴馬村長

谷 口 市 松

五十年來待望の越美北線は、時代の移り変わりにいろいろな運命を経て今日に至りましたが、いよいよ昭和四十七年十二月十五日を期し、本村の中心地、朝日まで開通の運びになり開通の式典を挙げることは、われわれ地元民にとつてこれほど喜ばしいことはありません。感慨無量の思いで胸が一杯で踊りあがる心地であります。

本線は、途中戦争の犠牲となり、ある時は延期、または中止となり、近くは廃線などという世評も伝えられ、われわれ地元民には、薄氷の上を歩く思いの中に、開通を念じて止まなかったのであります。

この鉄道は、奥地の開発はもちろんのこと、雪国の交通を円滑にするとともに本州を横断し、中京方面を経て太平洋岸域との交流を密にすること、商工業資材の輸送を容易にし、沿道資源開発を助け、福井県港湾の振興、農林漁業の進展助長の根源をなすものとして、われわれは寝ても覚めても忘れることの出来ない、しかもあきらめ切れないものがありました。幸いに関係官庁をはじめ、国・県の代表者の方々、本県歴代のご当局ならびに、関係市町村各位のみなままでのご熱意とご協力によって今日に至りましたことは、まことに喜びに堪えない次第で、心からお祝い申し上げます。

越美北線開通に献身的ご努力とご協力を賜りました関係各位に哀心より感謝し、越美南北線の完結の早期実現を念願いたしましてお祝いとおたくしの喜びのことばといたします。



荒島トンネル貫通!!

昭和45年7月15日着工以来4年振りに待望のトンネルが貫通した。荒島トンネルは全長5,264メートル、福井一九頭竜湖駅間で一番長いトンネルだ。



くわ入れ式

越美北線の開通を祝して

第十四代下穴馬村長

新 屋 時 蔵

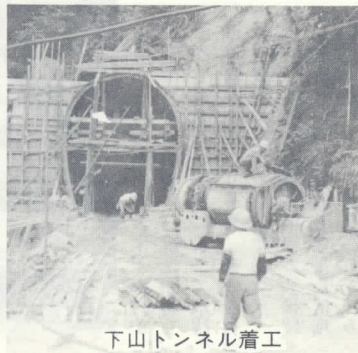
越美北線勝原―朝日間延長工事が竣工、いよいよ十二月十五日営業運転が開始されることに、心からお喜び申し上げます。

本線の開通は地方産業の発展と交通緩和、特に冬期の交通確保、安全性は村民の福利増進に寄与すること大であります。永年徒歩で深雪をかきわけ、この街道を通った私達には感慨無量であり、半世紀の夢が今ここに実現して、村民等しく喜びにしているところであり、祝福を惜しみません。

この開通までの長い歳月、幾多の推移変化があり、特に第二次世界大戦で工事が中断、一時絶望の感もありました。しかし終戦により翌二十一年工事再開を要望する声が起こり、大野郡下沿線の町村長と当時の県会議長松田輝治氏等と共に戦後第一回の陳情に上京、物資不足の折から食料、日用品をつめた「リックサック」を背に私も同行しました。バラック建の宿舎にゴロ寝して関係方面へ陳情に

かけ廻りました。その後歴代市町村長をはじめ、政、財界あげての努力が福井―勝原間、そして今ここに待望の勝原―朝日間の営業が開始されるに至ったのです。

一時は赤字線の廃線問題が起こり危惧の念もありましたが、そのような中で本線の開通を見たことは本当にありがたいことだと思えます。この開通実現に努力された鉄道当局、関係各位のご尽力に対し厚く敬意を表し、よろこびの言葉とします。



下山トンネル着工

越美北線開通に思う

第十三代下穴馬村長

桜 川 栄 太 郎

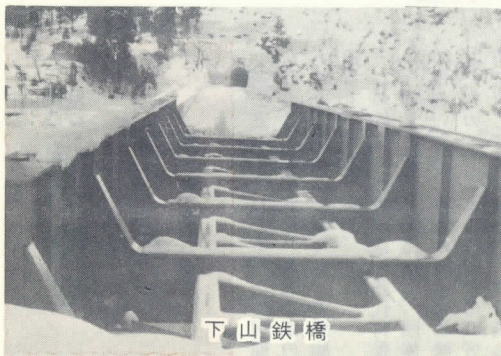
和泉村民が待ち望んでいた国鉄越美北線勝原―朝日間、十・一キロの着工くい打式が、関係各位のみなさんによって盛大に行なわれましてから八年余、越美北線の話が始まってから六十年余り、この長年の悲願であった延長工事も完

成し、いよいよ十二月十五日には営業開始となりましたことは、明治、大正、昭和のみなさんとともに心からうれしく思っております。

私は長生きをさせて戴いたおかげで目のあたりにポォーッ、と、軽やかな汽笛を鳴らして九頭竜湖駅にすべりこむダイヤル機関車を見ることが出来るなんて、ほんとうに夢のようです。

この開通によって和泉村の三大施策である山林資源の開発、地下資源の開発、観光開発等、今後更に充実できるものとして、期待は大いにあると思えます。

どうか、これを期に南北線の連絡を期するよう村政をつかさどるみなさんの一層の努力をおねがい致しまして、越美北線の開通のよろこびとします。



下山鉄橋

新しい歴史の胎動と 未来への輝かしい発展を

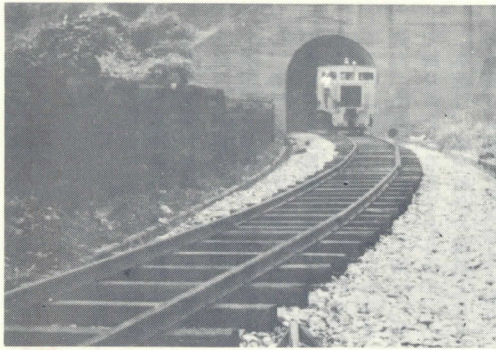
日本垂鉛鉛業株式会社社長

藤原正長

本日、待望の国鉄越美北線延長工事の完成と、国鉄九頭竜湖駅同下山駅の営業開始の日を迎えられたことを、心からお喜び申し上げます。

念願の九頭竜湖駅の営業開始までには、幾多の苦難がありました。が、地元の和泉村をはじめ、沿線各市町村が結束し、みごとに苦難を乗り越えつりつばな鉄路を実現されましたことは、まことに慶賀の至りであります。

いまから百年前の明治五年十月十四日に、わが国初めての鉄道が新橋―横浜間を走り、文明開花の利器としてもはやされたことを考えあわせるとき、日本が鉄路を整備して、国際社会の仲間入りをするに至り得たことは、まことに慶賀の至りであります。



したように、われわれも越美北線の延長開通によって、ようやく近代社会の仲間入りをした誇りと喜びを心の底から感ずるものであります。

新しいレールとともに、景観を誇る奥越の溪谷美・九頭竜ダムへの観光ルートも飛躍的に整備され、当和泉村の産業・経済・文化も大きく前進することでしょう。

今後は、越美北線につながる越美南線との接続実現につとめられることをお祈りいたします。

越美北線延長工事の完成と九頭

鉄路への思い出

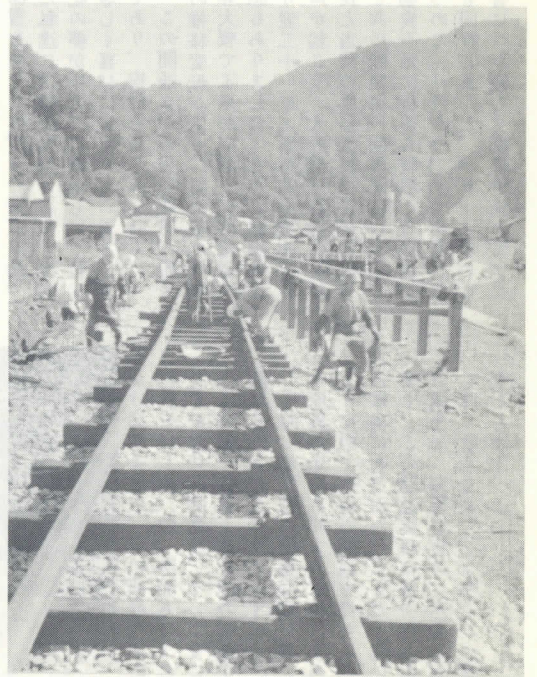
和泉村商工会長

山本清孝

和泉村の議会内に、特別委員会が設置されたのが昭和三十二年、議会にはじめて席をおいた時であった。以来本村は村当局、議会はもちろん村民一丸となって、越美線の開通促進を村政の最重要施策として取組んで来たのであります。

国会、運輸省、国鉄ご当局に練りかえし何十回か陳情作戦を続けるなかで、特に痛快であった理想の出となることは、部外者の立入り厳禁されている鉄道建設審議会が都内のあるホテルの八階で開かれることを知り、早朝特別委員一同先廻りして、当時審議会の委員長であった今の田中首相をはじめ

竜湖駅・下山駅の営業開始おめでとうございます。

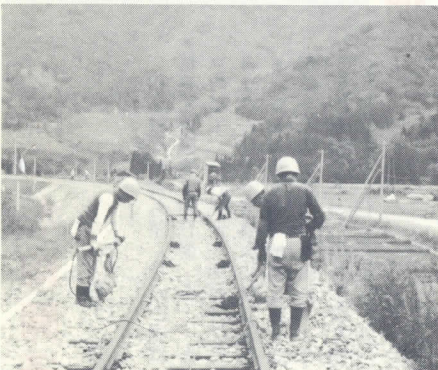


め全委員の先生方に直訴したことであります。

場所柄も時もわきまえない田舎議員がと思われたかも知れないが、その情熱と誠意はご理解いただけたと思っております。

全国総花式ではあったが、一億円の前算が越美線に配分された時、わしがわかつたからそれでよいだろう」と言っておきながら、今にして思えば日本列島改造論発想の中に当時より越美線のようなローカル線建設が如何に重要であるかをお考え

下さつたのだと思います。本村が企画中の産業開発も、観光開発も、すべて越美線の開通によって飛躍的発展が約束されます。過疎の村に生気がみなぎることでしょう。どうかこの機会に南線との接続を実現し、その意義と効果を倍増していただくことを念願して止みません。



開通の喜び

和泉村農業協同組合

組合長 表正一

過去五十年にわたる村民の宿願がみどり、越美北線の開通を眼のあたりに見ることができ、万感胸迫るものがあります。

この鉄路の建設には、歴代村長のたゆまぬ努力と関係機関、団体の根強い支援、協力が政治に反映したもので、これらの方々のご労苦に対し深甚なる感謝の意を表します。

なにごとも達成させることは決して容易なことではありませんが、達成した時の喜びは、また格別の意義深いものがあります。鉄道も長い間の苦勞が実を結び開通したので、その喜びを筆舌では表わすことができません。

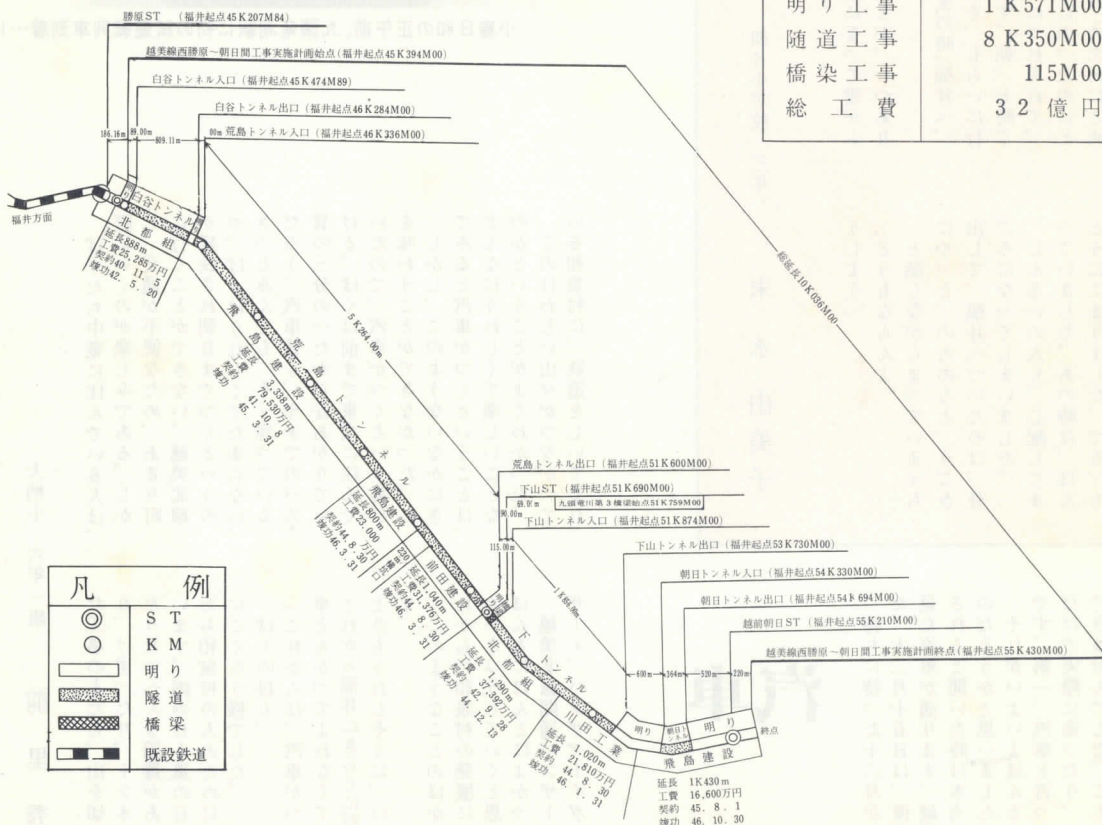
しかし、時代の変転は鉄道にも及び、全国各地に赤字路線がでており、なかには廃線の憂目を見ているものも少なくありません。わたしたちは今日の感激を忘れず、半世紀の歳月によって得た鉄路を永遠の足として確保するため一人一人がその必要性を向上させる努力と南北線接続実現に向かつて和泉村民だけの鉄道でなく、表日本と裏日本を結ぶ重要な路線としての使命があることを認識し、村当局、関係機関、村民一丸となって猛運動を展開して、全線開通の喜びを再び味わうようがんばりましょう。

32億の巨費……



おらが村に新しい “いぶき”を

越美線西勝原～朝日間工事施工概要図



越美線西勝原～朝日間工事施工概要図

開通までのあらまし

大正十年 岐阜県美濃加茂市―福井市
間総延長一五〇キロ、建設線に許可

大正十一年 建設工事に着手。

昭和九年 越美北線建設期成同盟会が
結成される。

昭和十年 岡田内閣のとき総工費一億
八百万円、六年計画で着工される。

昭和十四年 福井―大野間三八、八キロ
の路床完成、路線布設に入ったが、支
那事変拡大により中断、撤去さる。

昭和二十五年 小幡知事のとき越美北線開
通期成同盟会発足する。

昭和二十七年 補正予算で着工決まる。

昭和二十八年 吉田内閣解散となり予算が
流れて着工見送りとなる。

昭和三十一年 福井―朝日間五六、七キロ
を二十七億円で、三十九年完成が決ま
り同年六月着工される。

昭和三十五年 福井―勝原四五、一キロを
工費十八億円で完成、営業開始さる。

昭和四十年 五年ぶりに工事再開、二億
四千万円で白谷トンネルに着工

昭和四十一年 荒島トンネル五キロに着工
以降四十三年まで荒島二、六キロ、下
山六三二米、堀削完了する。

昭和四十三年 存置期成同盟会結成し存置
運動を起こす。

昭和四十四年 六億円の予算決まる。

昭和四十五年 荒島トンネル(五、二六四
米)が七月十五日貫通する。

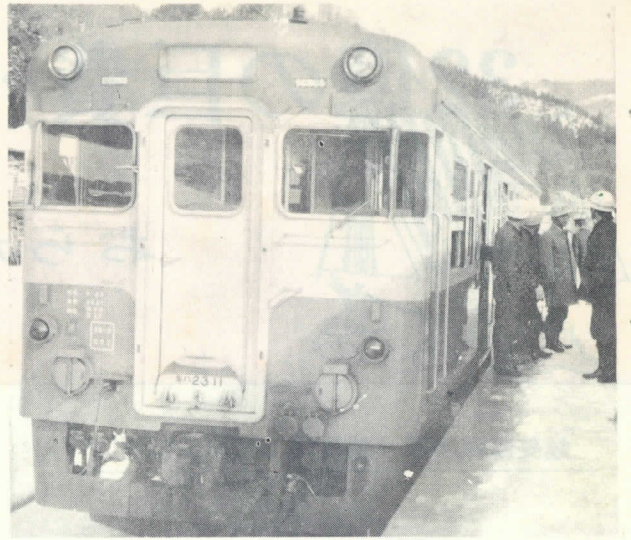
昭和四十六年 四億三千万円予算決定

昭和四十七年 二億一千万円予算決定。同
十月工事完成し、レール踏み固め試運
転を行なう。(十月二十二日)

十一月二十六日初列車、九頭竜湖駅に
到着。又、二十六日―十二月十四日ま
で一日六往復の試運転を行なう。

昭和四十七年 十二月十五日待望の開通式
が盛大に行なわれ、営業が開始される。

うれしうたな



小春日和の正午前、九頭竜湖駅に初の試運転列車到着…11月26日

わたしは、冬になって雪がふると思い出すことが、一つあります。

それは、一年生の時、福井へ、作文のごほうびを、もらいに行った時のことです。朝、七時ごろ、おとうさんにつれられて、よるこんでバスにのつたのにとちゅうで「なだれ」のためにとめられてしまったのです。

「早く行かないとおくれる。ど

朝日小学校 三年

末 永 由美子

うしよう」

「どうもならんよ」と話しながらまっっているうちにやつと、のろのろと、うごき出して、福井へついたのは、昼ごろになってしまいました。

しんるいの人も、心配してまっっていました。あの時は、ほんとうにこまりました。でも、もうこんな心配は、しなくてよいでしょう。

越美北線が開通したら

大納小 六年一組 前里 秀成

ぼくたち中竜に住んでいる人は、町にいくのが楽しみである。しかし、交通が不便なため、あまり町に行くことができない。越美北線が延長され朝日までつくというので、ぼくはうれしくてたまらない。きつとみんなも、そう思っているだろう。汽車も、今までのバス、賃の三分の一だから安あがりである。ぼくは前まで東京に住んでいたので、汽車がつくと喜びを味わうことができなかった。

しかし、このようななかになってみると汽車がつくということはどんなにうれしくて楽しいことなのかという山々がつかない。このけわしい山々がつながっている和泉村に、鉄道をしいてくれ

た工事の人たち、山を切り通したり、けずったり、トンネルをほったりたいへんな困難があったと思います。雨の日も風の日も、ぼくたち和泉村の人のために、ほんとうにがんばってました。

ぼくの母も、

「これからは、汽車がつくから、車とちがつてよわなくていいなあ。これから福井にきらくに行けるよ。」とさもうれしそうに、いっていただきます。

汽車

下山小 6年 徹 谷

待ちに待った十二月がやって来ました。十二月十五日は、僕達が夢にまで見た汽車が通ります。越美北線が延長されると聞いた時は本当に汽車が通るのだろうかと思いました。

それがいよいよほんとうになったのです。第一、汽車と言っても本で見ただけで実際に乗ったり、目で見る事ができませんでした。これからは、学校へ通うものにも買物やいろんな用事をするものにも大変便利になりました。

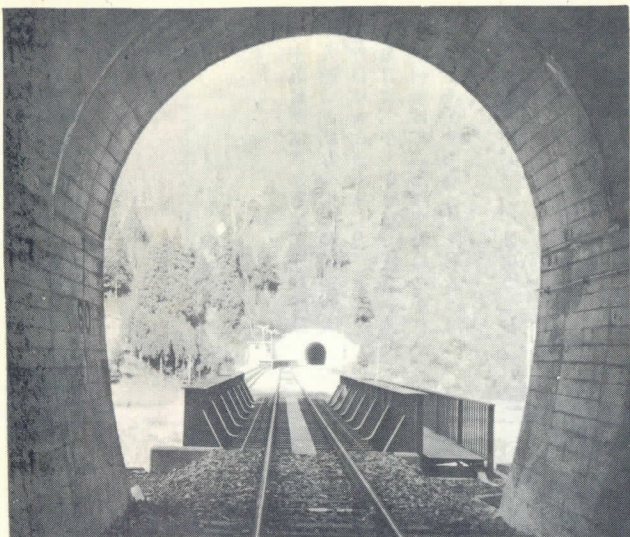
歓喜の中の決意

和泉村婦人会長

朝 口 秋 子

「オラが村に汽車が来た。」、そんな表現がピッタリするような素朴で静かな村に汽笛のひびき一声、澄み切った冬空に歓喜の生声をあげ初々しく盛装した九頭竜湖駅に静かに現われた姿を二千三百人全村民、師走の寒さにもこたえず寒風吹くホームに真赤に上気した顔で叫喜する姿が目前に浮かぶ。最近各地の地方線が赤字を理由に次々廃止撤去される中で、私達の村にだけは開通の喜びを得ることができ幸福感と同時に優越感すら全身にわき上がって来る。思い返せば、五十有余年、私達の先輩の方々が今日のこの日を夢見て時計の秒針が時を刻む如く休むことなく根気強さでご努力されて今日の喜びを勝ちとることが出来ました。私達村民思いを新たに先輩の方々に感謝と敬意を忘れてはならない。そして、昭和四十七年十二月十五日こそ永久に忘れることの出来ない記念すべき祝日であり、和泉村歴史の栄光ある一ページであります。

然し初期の目的である南北線の完結の第一歩であり、私達が今日のこの感激を胸に南北完結を目指して、けわしい山ものりこえ困難にもうち勝って、私達の味わったこの喜びを子孫に与えるため、あらゆる努力を惜しんではならないと思います。私達婦人も決意新たに祝福するものであります。



トンネルにはさまれた下山駅

和泉村

汽車がついたからです。わたしは、とてもうれしいです。大野へでも、福井へでも、早くいけるし、トンネルが多いから、夏はすずしいし、冬はつうこう止めにも、ならないだろうし、安全だと思えます。

「おじいちゃんの、家へ行くにも、のりかえを一回しかななくてもいいから、便利になったね」

とおかあさんも、よろこんでいます。かんこう客も、汽車にのって、たくさんきてくれるだ

ろうと思えます。そうすると、きれいなダムや、きれいな山が、見てもらえらるし、ドライブインが、もうかると思えます。

「鉄道がついてほしい」というのは、和泉村の人の前からのねがいだったのだよ」

と、おばあちゃんから、聞きました。そのねがいが、かなったのだなと思えました。

わたしは、だれに、おれいをいっていいのかわからないけど、「ありがとうございます」ほんとうに、うれしいです。

雪が沢山降って道路が除雪されなくても、急病人があった時でも非常に助かります。

冬になれば和泉村は雪国です。今年も立派なスキー場も出来てスキーヤーも汽車でたくさん訪れることと思います。

お年寄りの人は「おれたちの生きてる間に汽車が通るだろうか」「汽車にのって町へ行ってきたから死にたいものだ」と毎日のように話していた事がとうとう実現できるようになりました。

これからは、ラッセル車を見ることが出来ます。

貨物列車も見られます。

僕は、一番始めどこへ汽車で行こうか、早く乗って見たいと思います。十二月十五日よ早くこい。

一年中観光客がやってくる

大納中学 三年 岩野正恵

「越美北線開通」この言葉は私の心をゆさぶる。いや、私だけでなく友達もだと思う。

今、私達は入試、入試でみんな必死です。でもそんな中で唯一の楽しみは「もし高校へ入ったら……」なんて始まって「寮に入ったら楽しんやって、一諸の部屋やつたらいいのねえ」。「でも、なれんなら部屋に遊びに行くでね」なんて、もう入ったつもりになって……でも最近の話題は変わってきました。越美北線開通が近づいてきました。「ねえ知ってる？ 私ら寮に入れんのかもしれんのかよって、それに通学せなあかんのやって」などと、うそか本当なのか、そんな

な話すようになって私達の希望や夢がだんだんくずれてきちゃったんです。

でもよく考えると、冬バスが通らなくなるから、家が恋しくてもなかなか帰れない。でも越美北線が開通すれば容易に帰れます。でも、その事で私の心の中はぐるぐる回っているんです。十一になっていて、どちらがいいとも言えません。しかし、開通することはとてもうれしいんです。

冬でも村は観光地になります。いままでより和泉村が知られ、発達していくから、一年中観光客が来るから……でもその反面、やっぱり……という気もあるんです。

鉄道はこころの支え先輩“ありがとう”

和泉村青年団長

谷 秀 明

「和泉村に汽車が来る」待ちに待った夢が今ここに実現しました。「和泉村に汽車を」の話が出て幾星霜、進んでは止まり、止まっては進み開通までには多くの困難があつたが幾多の人々の努力の結晶がオレンジ色のツリトンカラーの汽車を朝日まで走らせた。交通の便の悪い時代、大野や白鳥へ出るのは大変でした。特に冬は県内でも有数の豪雪地帯、陸の孤島と化して、大野市へ出るには決死的な思いをしたこともあつた。人々は安全な交通の確保へ越美北線の開通は明日への希望の灯として村民の悲願となつたのです。

今ここに開通式を迎え、こみあげてくる嬉しさは言葉に言い表わすことが出来ません。先輩ありがとうと心からお礼を申し上げます。だが多くの先輩が築いたこの鉄道も国鉄の赤字再建、合理化という名のもと、いつ廃線の憂き目にあうとも限りません。鉄道がその地域にもたらす経済効果は大きい。しかしそれだけのものではなく山村であり、豪雪地帯に住むものにとつては鉄道こそ心の支えとなっているのです。私達はこの鉄道を存続させるため、開通式を初日として努力を続け、北陸と東海を結ぶ最短距離路線としての南北線の早期全線開通を推進することが必要です。

勝原―九頭竜湖間開通式

実施要項まとまる

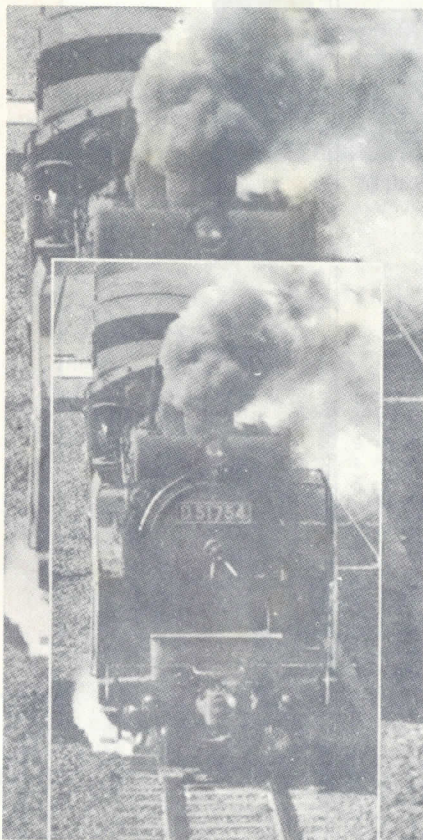
十五日開催される越美北線勝原―九頭竜湖間しゅん工開通式の大要がほぼまとまりました。

当日は、小・中学校も授業を休み、村挙げて六十年來待ちこがれた喜びを分かちあうことになりました。

◎出発式

- 一、日時 十二月十五日 十一時十分から
二、場所 九頭竜湖駅ホーム
三、主催 国鉄金沢鉄道管理局長
四、式次第
1 花束贈呈
越前大野駅長
運転手
掌
贈る人
村内の三人の娘さん
国鉄総裁
鉄道建設公団総裁
福井県知事
福井市長 島田博道
美山町長 上野弥左衛門
大野市長 寺島利鏡
和泉村長 杉本又助
五、祝賀列車発車

九頭竜湖駅発十一時二十分
この間、福井県警察本部音楽隊(二十五名)が祝賀演奏をしてくれます。



ロ式 辞
鉄道公団名古屋支社長
国鉄金沢鉄道管理局長
ハ 挨拶

◎竣工開通式

- 一、名称 越美北線勝原―九頭竜湖間 しゅん工開通式
二、日時 十五日 十一時三十分から
三、場所 朝日中学校体育館
四、主催 日本鉄道公団名古屋支社長
五、出席 約三〇〇名
六、式次第
イ 開会のことば
鉄道公団名古屋支社総務課長
鉄道公団名古屋支社総務部長

ニ 来賓祝詞

- 国鉄総裁
公団総裁
運輸大臣
衆議院運輸委員会委員長
参議院
鉄道建設審議会会長
鉄道新線建設促進議員団会長
福井県選出国會議員代表
鉄道新線建設促進全国協議会長
福井県知事
岐阜県知事
福井県議會議長

沿線市町村代表(和泉村長)
祝電披露
金沢鉄道管理局文書課長
金沢鉄道管理局総務部長
閉会のことば

◎祝賀会

- 一、日時 十五日十三時から
二、主催 越美北線 開通促進期成同盟会長
三、次第
1 開会のことば
大野市長 寺島利鏡
2 挨拶
会長 福井県知事
中川平太夫
3 乾杯
中央来賓から
(郷土芸能)
イ 奥越太鼓
ロ 穴馬おどり
ハ 新吉原
5 万才三唱
6 閉会のことば

なお、九頭竜湖駅はもとより、会場となる朝日中学校やその沿道には、アーチ、万国旗、三角旗など装飾をこらし、協賛行事として、旗行列、丁灯行列、列車の到着と出発時には花火も打上げます。また、翌十六日に午後一時から朝日中学校で午後六時から中竜会館で演芸があります。さらに、朝日中学校では、珍石、特産品、観光写真、珍木等の各種展示会を開きます。

越美北線列車時刻表

Table with 10 columns: Station Name, Up (上), Middle (り), Down (下), and another Station Name. Rows include 福井, 大野, 勝原, 下山, 九頭竜湖, 九頭竜湖, 下山, 勝原, 大野, 福井.